

森林・林業教育に関する取組

飛騨高山高等学校

1 校外活動について

全国豊かな海づくり大会

本年度岐阜県で開催された「全国豊かな海づくり大会」のサテライト会場として、地元小学生を対象に、環境体験プログラムを提供。本校実習林での環境体験やネイチャークラフト体験、環境学習の取組に関する事例発表などを行った。



全国海づくり大会サテライト行事

ビオトープ実習

本年度、高山西ICにある「飛騨の森再生」で継続的な調査・研究を行っていく目的で、国土交通省と協定を結び、環境学習に取り組んでいる。



ビオトープ実習（協定）

荒城農業小学校での水環境教室の実施

川の生き物調査と水田の生き物調査について、地元小学生を対象に環境教室を開催している。

中部森林技術交流発表会

大学、高校、NPO等が日頃取り組んでいる森林・林業に関する研究、林業体験、ふれあい体験等の取組についての事例発表会に毎年参加している。

植林活動

宇津江四十八滝「悠久の森」植樹会、ドングリの会植林祭、高山中央ロータリークラブとの大気環境木の植林を行っている。来年度は、高山IC建設で整備された周辺の山での植林活動を計画している。



植林活動（協同）

2 行政機関との連携（飛騨農林事務所：林業就業者事業） （飛騨森林管理署：森林施業地見学等）

平成17年度より農林高校生林業就業促進事業が実施されるようになり、地域の素材生産の現場から木材市場・製材工場といった林業に関する上流から下流までの一連の作業内容についての見学を行っている。

また、本校演習林での間伐技術講習や作業路計画・施工に関する体験を重視した実習にも取り組んでいる。

（1）宿儺の森（健全で豊かな森林づくりプロジェクト事業地）

ア 事業地の概要

高山市丹生川町（曾手、日面、旗鉾地内）の全体面積563.54haのうち人工林351.55ha・人工林蓄積75,055m³。



集約化事業地見学



木材市場見学

イ プロジェクトの特徴

効率的な作業システムの構築を目指し、「経験則に基づく高性能林業機械の効率的な作業範囲の設定」や「中間土場から各契約工場への直送システムによるコストの縮減」などに取り組んでいる。



かかり木処理講習



間伐実践講習

（2）演習林での技術研修

ア 森林施業技術研修

木材収穫量調査・間伐木を選木を実施し、チェーンソーによる伐採・造材の実践実施。

イ 作業路網施工研修

予定線形の図化作業、現地踏査・勾配追いを実施し、作業路開設の実践。



作業路計画講習



作業路施工講習

3 演習林の活用

持続可能な森林づくりに向け、森林に期待される環境保全と木材生産の機能を備える森林づくりのための取組を始めた。また、実践的な実習として平成21年度より間伐材や支障木を中心に木材の出荷も行っている。

(1) 取組の流れ

ア 間伐・伐採に伴う手続き

高山市への伐採届けの提出等の実施。

イ 演習林の測量

演習林全体の境界測量等（簡易GPSの利用）の実施。

ウ 森林施業計画

（飛騨森林管理署の協力）

間伐実施の手順や収穫量調査・選木等についての研修。

エ 間伐の実践

施業計画をもとに、間伐方法や間伐率を検討し、伐倒・造材・搬出を実施。

オ 木材の出荷

飛騨支所林産物共販所に木材を出荷。



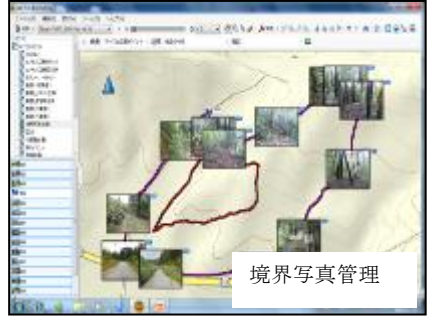
雪害調査



伐採手続き



境界測量



境界写真管理



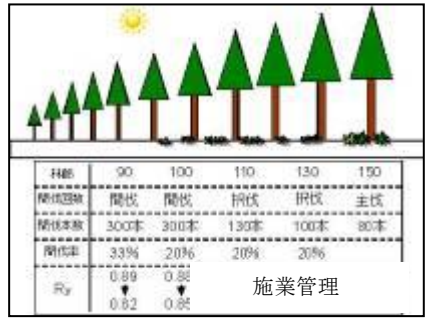
立木調査



選木実践講習



施業管理計画講習



伐倒作業



造材作業



搬出作業



木材出荷